



2021年3月30日

スターバックス日本上陸 25 周年

コーヒーの力、人と人、人と地域のつながりの力で未来を創り出す夏に

2021年4月14日(水)～8月末までの期間、3フェーズでアニバーサリープロモーションを展開

～お客様とスターバックスで作る 25 周年記念リレームービーも本日より募集開始
25 周年スペシャル限定グッズも 4 月から登場～

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社(本社所在地:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者(CEO):水口貴文)は、1996年、北米以外初の海外マーケットとして、東京・銀座に日本一号店を開業してから、今年で 25 周年を迎えます。また、本年 2021 年は、米国・シアトルのパイクプレイスマーケットで、スターバックスが産声を上げてから節目となる、ブランド創業 50 年を記念する年でもあります。2 つの大きなマイルストーンを共にお祝いさせていただくとともに、次なる未来に向けた大切なシーズンとして、「The Power of Coffee. The Power of Connection.」をテーマに、4 月 14 日(水)～8 月末は、3 つのフェーズに分けて、アニバーサリー企画を展開いたします。

<スターバックス コーヒー ジャパン 25 周年アニバーサリープロモーションについて>

スターバックスは、50 年前に米国・シアトルで、また日本の 1 号店が 25 年前に誕生して以来、一杯のコーヒーを通じて人と人をつなぎ、日常に活力と心豊かなぬくもりの瞬間を届けることをミッションとしてまいりました。今では、世界 83 か国、約 32,000 店へと広がり、日本では 47 のすべての都道府県の 1,600 を超える店舗に毎週約 500 万人のお客様が訪れ、またデジタル上でもつながることができるようになりました。この機会を背景に、改めて私たちのルーツを見つめなおし、これからもコーヒーと人の力を原動力に、さらなるつながりを生み出すことで、社会に笑顔あふれる前向きな未来を創りたいと考えています。その想いを込めた 25 周年のテーマ「The Power of Coffee. The Power of Connection.」と記念のロゴマークを掲げ、スターバックスならではの楽しさと驚きをスパイスに、笑顔溢れるプロモーションを展開してまいります。



The Power of Coffee. The Power of Connection.

コーヒーの力はつながりの力

コーヒーには、人と人をつなぐ力がある。

50 年前にシアトルで、そして 25 年前に日本で誕生して以来、
スターバックスは、お客さまはもちろん、地域、産地、そしてパートナーたちと、
コーヒーを通じてたくさんの素敵なつながりを築いてきました。

25 年たった今、改めて私たちは、

ルーツであるコーヒーの力を信じ、進化させ、
新しい時代の、新しいつながりを生み出していきたいと思えます。

きっと、コーヒーにできることがまだまだある。

スターバックスにできることがまだまだある。

コーヒーを愛するみなさんと共に、新しい未来をつないでいきます。

■フェーズ1:ルーツであるコーヒーとつながる

プロモーション期間:4月14日(水)~5月下旬

米国・シアトルで50年前、コーヒー豆の量り売りの事業から始まったスターバックス。また、日本で最初の一杯をご提供した25年前のその瞬間の熱い想いを忘れず、四半世紀たった今、LOVE COFFEEというテーマのもと、あらためて私たちのルーツであるコーヒーの魅力を見つめ直し、新しい時代のコーヒーの新しい楽しみ方を新たな商品やコンテンツを通じて提案してまいります。

■フェーズ2:地域・地元とつながる

プロモーション期間:5月下旬~7月中旬

東京・銀座をスタート地点に、今では47すべての都道府県にスターバックスの店舗が広がりました。それぞれの地域のオアシスとなるよう、地元の文化や歴史、人々とつながりを育み、コミュニティと共に歩みを進めてまいりました。フェーズ2では、25周年を記念して、これまでの全国各地でのご愛顧に感謝し、地元の個性を活かし、地元の人たちとともに楽しめる企画を用意してまいります。

■フェーズ3:サステナブルな未来とつながる

プロモーション期間:7月中旬~8月末

25年の間、一人ひとりのお客様に安らげるサードプレイスを提供し、日本のコーヒーシーンに変革を起こし続けてきたスターバックスは、末永くコーヒーを楽しめる持続可能な未来に向けて、サステナブルなスタイルを提案し、さらなる挑戦を続けています。この期間に私たちのサステナビリティの考えを表現するユニークな商品やサービスをご用意し、お客様とともに、地球にも人にも嬉しい活動を展開してまいります。

各フェーズの具体的な商品やサービス展開については、後日プレスリリースや公式ウェブサイトにてご案内をさせていただきます。

この節目に際し、スターバックス コーヒー カンパニー(本社:米国シアトル)の社長兼最高経営責任者(CEO)であるケビン・ジョンソンは、以下のように述べています。「北米以外におけるスターバックス初の海外市場として、日本は、コーヒーとつながりの力を通じ、スターバックスのミッション&バリューズを世界中に広げるうえで極めて重要な役割を果たしてきました。日本全国のスターバックスパートナー(従業員)の情熱と、スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京で絶え間なく続くイノベーションは、世界規模へと広がった私共のビジネスを刺激し、高め続けています。パートナーが築き上げたこれまでの目覚ましい功績を誇りに思うとともに、次の25年間でも、日本市場においてリーダーシップを発揮し、さらなる成長につながることを楽しみにしています。」

また、スターバックス コーヒー ジャパンの代表取締役最高経営責任者(CEO)、水口貴文も以下のようにコメントしました。「日本マーケットにおける25年間のご愛顧に心より感謝申し上げます。この四半世紀の間、日本のコーヒーシーンに新たな体験をお届けするべく、今や4万人となったパートナーと共に邁進してまいりました。これからも、私たちのルーツであるコーヒーの力を信じ、進化させ、新しい時代の、新しいつながりを生み出していく挑戦を続けたいと思います。」

<スターバックス日本上陸25周年 スペシャル限定グッズ登場!>

スターバックス日本上陸25周年を記念し、多彩なメニューやグッズが続々と登場します。その中でも、日ごろから季節ご

とに大変ご好評いただいているグッズ類は、コレクターでなくても、欲しくなるものばかり。第1弾では、25周年のロゴに加え、グリーンのエプロンやマグカップ、フラペチーノ®にベアリスたと、スターバックスにまつわる様々なモチーフが描かれたタンブラーやマグなどスペシャルな商品が多数登場します。第2弾、第3弾でも、それぞれコンセプトの異なるラインナップで登場予定です。情報は今後随時お伝えしてまいります。



■商品名・価格:

①	グラスタンブラー25YEARS473ml	¥2,400(¥2,640)
②	ハンディーステンレスボトルスターバックスルーツ 500ml	¥4,400(¥4,840)
③	シリコンストラップボトルサイレントイル 473ml	¥2,200(¥2,420)
④	カーブスステンレスボトルスターバックスルーツ 355ml	¥3,900(¥4,290)
⑤	コレクタブルスタッキングマグ 355ml レッド/グリーン/イエロー	各¥2,000(各¥2,200) ※オンラインストア限定
⑥	ベアリスたと 25YEARS	¥3,300(¥3,630)
⑦	タンブラースターバックスルーツ 355ml	¥1,800(¥1,980)
⑧	ステンレスボトル 25YEARS473ml	¥4,200(¥4,620)
⑨	コールドカップタンブラーベアリスたとレッド 355ml	¥1,900(¥2,090)
⑩	タンブラーアイコンズサークル 355ml	¥1,800(¥1,980)
⑪	耐熱グラスマグスターバックスルーツ 355ml	¥2,000(¥2,200)
⑫	スターバックスミニカップギフトスターバックスルーツ	¥950(¥1,045)
⑬	コレクタブルコールドカップグラスコーヒータチエリー414ml	¥1,600(¥1,760)
⑭	ステンレス TOGO カップタンブラーアイコンズループ 355ml	¥3,600(¥3,960)
⑮	ビバレッジカードスターバックスルーツ	¥620(¥682)
⑯	スノーグローブ 25YEARS	¥3,900(¥4,290)
⑰	ホイップキャップステンレスジャータンブラーNo.25 473ml	¥3,400(¥3,740)
⑱	マグ No.25 355ml	¥2,100(¥2,310)

■取扱店舗: 全国のスターバックス店舗(一部店舗を除く)、オンラインストア

■発売日: 2021年4月14日(水)

※購入制限期間: 4月14日(水)のみ、お一人様1商品につき1個まで

※表示価格は税抜の本体価格および(税込価格)です

※実際の商品は写真と異なる場合があります

※なくなり次第終了

<お客様とスターバックスと一緒に創る、25周年記念ムービー「#スターバックス 2525 リレー」を募集>

スターバックスが日本に上陸してから、まもなく25年。一杯のコーヒーを通して、数多くのお客様とつながってきました。これからも世の中がもっと笑顔で溢れるように、たくさんの方へ、そして未来へ…そんな想いを込めて、一杯のコーヒーを介して、お客様とパートナーを笑顔でつなぐ「#スターバックス 2525 リレー」ムービーを制作いたします。動画制作にあたり、インスタグラムまたはツイッターから「お客様の”2525 な一杯”(ニコニコな一杯)を手渡す」動画または写真を募集いたします。ハッシュタグ「#スターバックス 2525 リレー」をつけて投稿いただいた動画・画像を、スターバックスが撮影したものを含めて1本のムービーに編集し、後日 SNS 公式アカウントや公式ウェブサイトにて公開いたします。

- 募集期間: 2021年3月30日(火)~4月15日(木)23:59
- 公開日: 2021年5月上旬(予定)
- 募集要項 HP: https://www.starbucks.co.jp/anniversary_25/

スターバックスはこれからも、皆様の生活に潤いと活力を与える、日常に欠かせないブランドとして次の25年もその先も永くご愛顧いただけるよう、コーヒーの持つ人と人をつなげる力を原動力に、付加価値のあるスターバックス体験を提供し、進化を続けてまいります。

<1996年8月2日当時のエピソード>

25年前の1996年8月2日。その日は、とても暑い日でした。東京・銀座の裏通りの一角に、腕まくりをしたビジネスマンや観光客、街行く人たちが列をつくりました。

淡いオレンジの外観に映えるグリーンのはさしの下の人だかりに、米スターバックスのCEO(当時)、ハワード・シュルツ氏とスターバックス コーヒー ジャパンの創業者で当時のCEOである角田氏は、目を丸くしました。そんな真夏の暑い日、銀座松屋通り店は、白いカップを手にエスプレッソの風味や新しいカフェスタイルを楽しむ人であふれ、コーヒーの香りと活気が店内を包み込みました。

日本で、最初に注文された一杯は「ダブル トール ラテ」。今や象徴となったカスタマイズでの注文から、スターバックスの新しい旅路が始まりました。北米以外の海外初進出となった日本でも愛される存在に。この日から今日まで、ジャーニーは続いています。



◆スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <https://www.starbucks.co.jp/>

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1996年に東京・銀座に日本第1号店を開業。現在、全世界83か国で32,000店舗以上、日本全国47都道府県において1,628店舗(2020年12月末時点、ライセンス店舗を含む)のコーヒーストアを展開しております。「人々の心を豊かで活力あるものにするために—ひとりのお客様、一杯のコーヒー、そしてひとつのコミュニティから」をミッションに掲げ、約4万人のパートナー(従業員)が、一杯のコーヒーを通じて、人と人とのつながりと心あたたまるひとときを提供しております。2019年2月28日には、世界5拠点目となる「スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京」をオープンしました。

お客様からのお問い合わせ先 0120-336-388
 ※間違い電話が多くなっておりますのでお気を付けてください
 (10:00-18:00 年中無休、国際電話、IP 電話からは 03-5745-5890)



四半世紀を振り返る スターバックス日本上陸からの歩み

◆ 日本に広がるカフェブーム

● 1996.8.2 北米以外の海外初マーケットとして、日本1号店「銀座松屋通り店」がオープン

日替わりで提供する深煎りのドリップコーヒーやスターバックス ラテなどのエスプレッソビバレッジ、完全禁煙、事前に会計するセルフ式、TOGO（持ち帰り）スタイルが日本で定着していきます。大人の嗜好品だった「コーヒー」のあり方が変わり、ブレンドやアメリカンといった喫茶店文化から新たなカフェブームが訪れます。

今やスターバックスのもう一つのアイコンとなったフラベチーノ[®]は、上陸1年前の1995年に米国で誕生。「フラッペ」と「カプチーノ」を合わせた造語で、日本上陸当時は2種類のみ。ホイップもなしのスタイルでした。



1995年、フラベチーノ[®]米スターバックスで誕生！

国内1号店
銀座松屋通り店
オープン

◆ 「サードプレイス」の浸透 — 自宅でも職場でもない第三の居場所

● 2000 日本国内100号店がオープン

自宅と職場でもない、もう一つの居場所「サードプレイス」という概念や、自分だけの一杯を楽しむ「カスタマイズ」が日本でも浸透していきます。

今や、カスタマイズの組み合わせは、17万通り以上。居心地の良い空間で、ゆったりと過ごす新たなカフェの楽しみ方が定着していきました。



◆ 手軽なキャッシュレス決済が日本で広がり始める

2001~02年頃にIC 乗車券が登場し、大手コンビニでもキャッシュレス決済システムの導入が進みました。

● 2002 スターバックス カードの取り扱いを開始

スターバックスでも、プリペイド式の「スターバックス カード」をキャッシュレス決済の先駆けとして導入。2021年現在キャッシュレス比率は約40%を超え、支払方法も多様になりました。豊富なデザインが魅力のスターバックス カードは今もペイメントの中心に。



スターバックス カード
取り扱い開始

● 2005.4 「イチロー・スターバックス カード」を販売

メジャーリーグ・シアトルマリナーズの協力のもと、売上の一部を子供たちの夢や将来に寄付することを発表。NPO・NGOとのパートナーシップが広まるきっかけにもなりました。

スマートフォンの普及とともに、公式モバイルアプリが登場したのが2016年5月。翌年9月には、ロイヤルティプログラム「STARBUCKS[®] REWARDS (スターバックス[®] リワード)」を導入し、会員数は現在700万人を超える規模に。スマートフォン上でのスターバックス カードの支払いに加えて、ペイメント手段は今も拡大を続けています。

2019年6月にスタートした事前注文決済サービス「Mobile Order & Pay (モバイルオーダー&ペイ)」の導入で、スマートでクイック、非接触の購買体験を実現。今は全国のスターバックスでご利用いただけます。

◆ オフィス以外で働く「ノマドワーク」が普及

今では当たり前のFree Wi-Fiサービスや電源のあるカフェ。スターバックスでもこのころから広がりました。

● 2009.11 111店舗でFree wi-fi の提供開始

カフェでPCを広げて仕事をするスタイルがすっかりお馴染みに。今では全国の店舗でFree Wi-Fi サービスを完備し、電源を備えたカウンターや半個室席を擁したビジネス利用に特化した店舗もオープンしています。



◆ スターバックス体験のさらなる進化

時代やライフスタイルの変化とともに、カフェに求められる体験のあり方も多様化。

● 2019 スターバックス リザーブ[®] ロースタリー 東京を中目黒にオープン

コーヒーの世界をさらに深化させ、五感で楽しむコーヒーのワンダーランドとして、国内外の人たちを魅了。2019年最大のトレンドスポットとして注目を集めました。

ティーの世界を多彩に楽しめる「六本木ヒルズメトロハット/ハリウッドプラザ店」や、ビジネス利用に特化した「高輪ゲートウェイ駅店」「CIRCLES 銀座店」など、2020年には個性豊かな店舗も登場しています。

